

# 最新技術を搭載したデジタルマンモグラフィ - 3Dマンモグラフィ（トモシンセシス） -

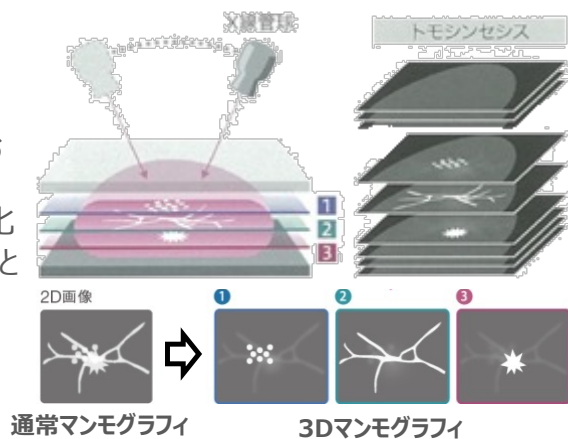
料金(税込み)  
9,900円

## 3Dマンモグラフィ（トモシンセシス機能）とは？

通常のマンモグラフィ装置で得られる画像（2D）は厚みのある乳房の中身（乳腺、脂肪、病変など）がすべて重なり合っており、乳癌が隠れてしまう可能性があります。

3Dマンモグラフィ（トモシンセシス）は、右図のように角度を変化させて曝射しデータを収集することで、1mmごとの断面を得ることができます。

この機能によって、今まで重なりあってわからなかったものが描出できたり、重なって病変に見えていたものが正常であるとわかるようになります。



## 3Dマンモグラフィ（トモシンセシス機能）の撮影方法

通常のマンモグラフィと同様に乳房を圧迫した状態で撮影します。トモシンセシス機能を用いて撮影する分、撮影時間は少し長くなりますが、1回の圧迫時間は20秒ほどです。

最新の撮影装置を導入したことにより、通常マンモグラフィに加えて3Dマンモグラフィを撮影しても、通常のマンモグラフィなみの被ばく線量で撮影可能です。



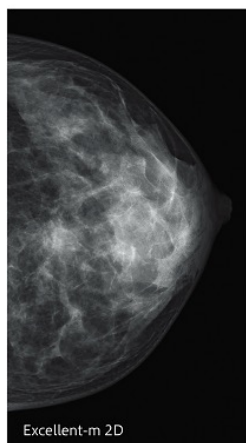
## 乳がんは早期発見すれば、治癒率が高いがんです

最新技術の乳癌検診で早期発見！！



当施設導入最新マンモグラフィ装置

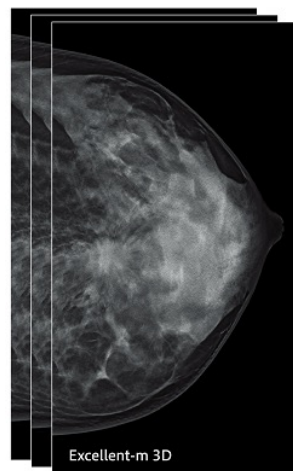
## 2Dマンモグラフィと3Dマンモグラフィの画像比較



2Dマンモグラフィ



1mmごとの  
スライス画像で確認



3Dマンモグラフィ